クオリカ　事業継続の舞台裏！

～なぜ在宅勤務がスムーズに実現できたのか？～

2021年06月09日

クオリカ株式会社
プラットフォームサービス事業部
植松 俊貴

© 2021 QUALICA Inc.

クオリカ 会社概要

■社名　クオリカ株式会社
■設立　1982年11月1日
■資本金　12億3,460万円
■売上高　218億円(2020年3月期)
■代表者　代表取締役会長　田中　賢一
　　代表取締役社長　辻本　誠
■従業員　999名（2021年4月現在）
■本社所在地 〒160-0023
　　東京都新宿区西新宿8-17-1
　　住友不動産新宿グランドタワー23F

■事業所
東京（西新宿・溜池・虎ノ門）
大阪（堂島・枚方）、栃木（小山）、富山（砺波）
神奈川（平塚）、埼玉（さいたま）、福島（郡山）
石川（粟津・金沢）

■連結子会社
シンガポール（QUALICA Asia Pacific Pte. Ltd.）
上海（高律科(上海)信息系統有限公司）
タイ(QUALICA (Thailand) Co., Ltd.)

■主要株主
ＴＩＳ株式会社　80%
株式会社小松製作所（コマツ）　20%

クオリカの強み

コマツのＩＴパートナとして培った、現場力と技術力

クオリカは建設機械メーカー『コマツ』のＩＴ部門から分社独立。
設立以来38年間、コマツをＩＴの側面から支え続けております。

製造業、流通・サービス業での業務知識

長年培ってきたノウハウと、先進技術を取り入れた高付加価値なITサービスを通じ
お客様にとって『なくてはならない存在』を目指します。

クオリカ 会社概要

2020 ・AI PaaS「Xlake」リリース
・バンコクにクオリカタイランド設立

・IoTプラットフォーム「Bellonica」 2019

2018 ・データトロンを子会社化
・タイ駐在員事務所を設立

・次世代型WEBパーツカタログ「PITT Qube」リリース
・勤怠管理ソリューション「TimeManagementQUBE」リリース
・ユーバス事業（アパレル事業）の一部を譲受 2017

2016 ・新TIS発足
TISインテックグループに変更

・クオリカアジアパシフィック体制強化 2013

2012 ・クラウド型デスクトップ「ThinOffice」リリース

・クオリカ上海体制強化
・設備遠隔監視システム「CareQube」リリース
・本社を新宿区西新宿へ移転 2011

2010 ・クラウド対応生産管理システム「AToMsQube」
・インフラソリューション「QCloud」リリース

2008 ・ITホールディングス（現TISインテックグループ）の一員に

2006 ・タッチパネル端末「WebLight」販売開始

2005 ・鋳造シミュレーション分野で中国進出
・小売専門店向けソリューション「Specialty Qube」リリース

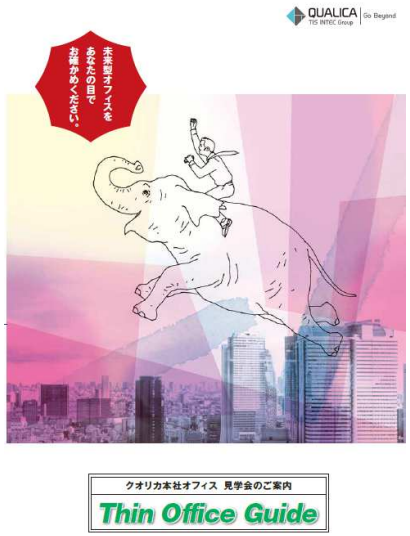
2003 ・クオリカ㈱に社名変更

2000 ・TISグループの一員に

© 2021 QUALICA Inc.

クオリカ 会社概要

テレワークの『苦労』と『ノウハウ』をもっている会社です



© 2021 QUALICA Inc.

クオリカ　プラットフォームサービス事業部　部門紹介　及び　自己紹介

事業部長:古澤　義史　　**副事業部長:福永　祥也**

PS1部
部長：森口
- ネットワークセキュリティー
- サーバー／MW構築
- フィールドサービス（常駐）

PS2部
部長：小渕
- プリセールス
- サービス企画、次期IOSプラットフォーム構築
- 流通/製造向け基盤、等

サービス企画構築/販促

植松　俊貴

PS3部
部長：福永
- サービスデスク
- 一般／社内IOS向けサポー

PS4部
部長：遠藤
- アウトソーシング、・データセンター運用

Technology ＆Service ＋ Sales ＆Technology

運用機能集約 ＋ 次世代運用

© 2021 QUALIGA Inc.

本日 皆様へおつたえしたいこと

第１章. **在宅勤務**へのスムーズな移行

第２章. メールも繋がらない。10年前の**苦い経験**

第３章. **多様化する働き方**に向けたテレワーク環境

舞台裏　検索

ぶたいうら
【舞台裏】
1.舞台の裏の、見物席からは見えない所。
大道具(おおどうぐ)等が置いてある。
2.「一のかけひき」

© 2021 QUALICA Inc.

COVID-19

新型コロナウイルス感染症を巡る国内の主な出来事

2020年1月	国内初の感染者を確認
2020年4月	全国対象に緊急事態宣言
2020年5月	緊急事態宣言が解除
2020年7月	「GoToトラベル」キャンペーン開始
2020年12月	「GoToトラベル」キャンペーン全国停止
2021年1月	1都3県、緊急事態宣言
2021年2月	緊急事態宣言が解除
2021年4月	4都道府県、緊急事態宣言
2021年5月	緊急事態宣言の延長が決定

NHK「新型コロナウイルス特設サイト」より

国内の発生状況

NHK「新型コロナウイルス特設サイト」より

このコロナ禍において、現場や日々の生活でご尽力なされている
皆様、大変ご苦労様でございます

コロナ感染拡大からのクオリカ

2020 2月	在宅推奨	1/28　全社対策本部立上 2/25　在宅勤務、時差出勤の推奨 (3/2より重点実施)
3月-5月	在宅原則	3/26　在宅勤を原則化 (緊急事態解除後も継続)
6月-9月	働き方を変化	5/27　出社率50%を目安 7/29　出社率30%を目安(第2波)
2021 –	ニューノーマル	4/1以降　出社率30%を目安 (ニューノーマルな働き方)

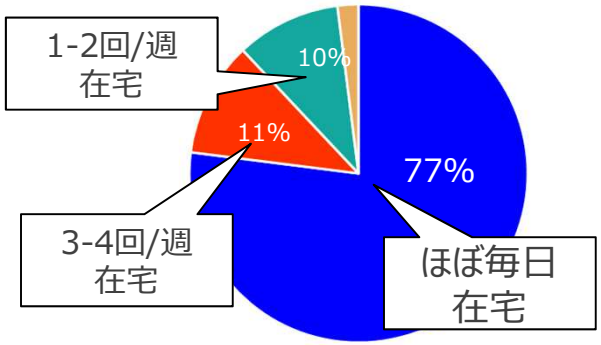
出社率
約10%~30%(首都圏)

© 2021 QUALICA Inc.

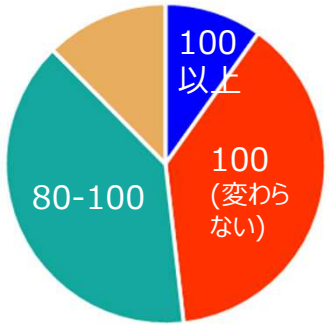
在宅勤務へスムーズな移行

社員アンケート実施

緊急自体宣言期間中のテレワーク実績



オフィスと比較したテレワークの生産性
(オフィスを100とした場合)



ワークライフバランスがとりやすくなった

残業が減った　　ストレスが減った

第２章　メールも繋がらない　10年前の苦い経験

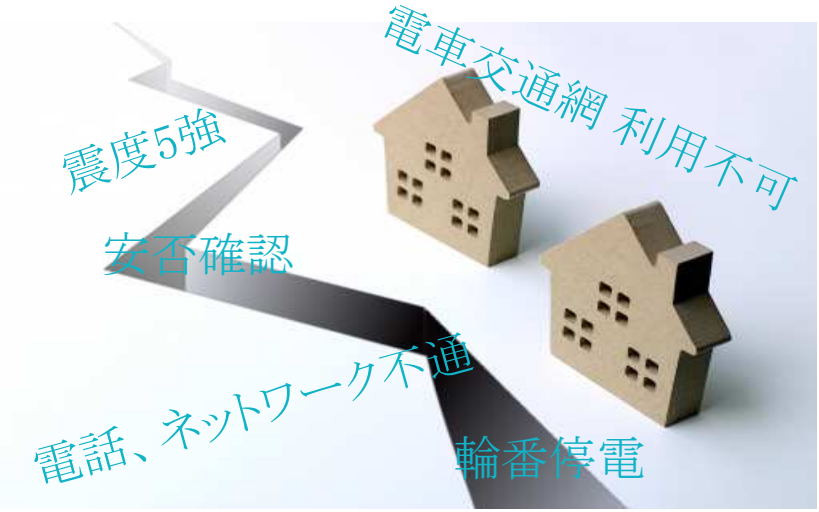
第１章. **在宅勤務**へのスムーズな移行

第２章. メールも繋がらない。10年前の**苦い経験**

第３章. **多様化する働き方**に向けたテレワーク環境

© 2021 QUALICA Inc.

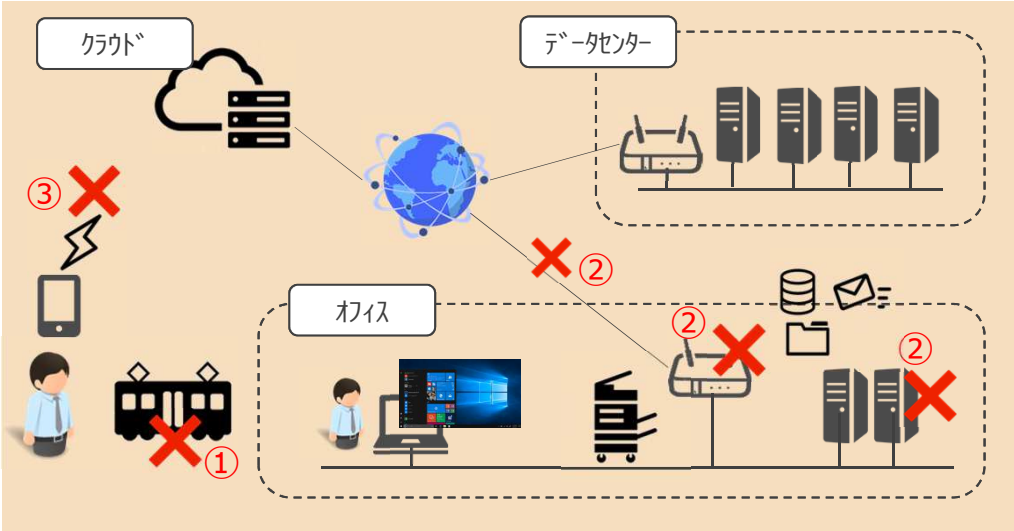
2011年 震災



お客様へサービス提供が
できない状況

オフィスのITリソースがマヒ

- パソコン業務はオフィス自席で
- メールや文書もオフィスのサーバへ
- 唯一の連絡手段が不通



© 2021 QUALICA Inc.

IT環境の見直し

業務データを含む全ての ITリソースをデータセンターに集約

どこからでも業務
が継続できる

セキュリティの強化
データゼロのオフィス

オープンで、活発
迅速なコラボレーション

変更コストの削減

VDI

シンクライアント

BYOD

認証

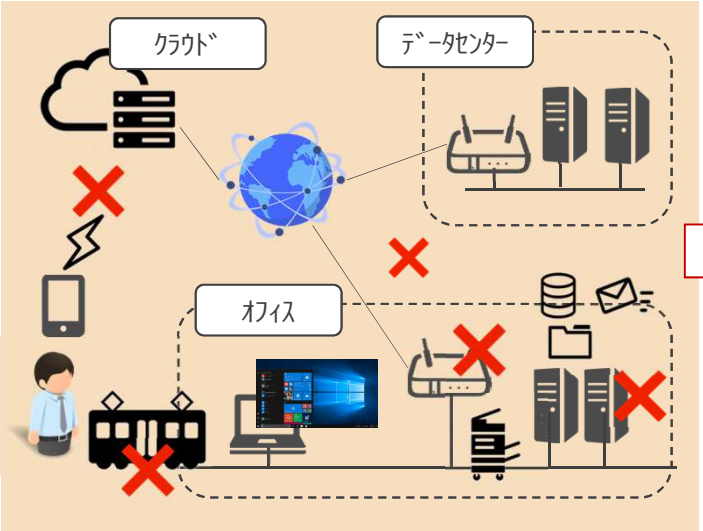
Google
G Suite

© 2021 QUALICA Inc.

BCP、ワークスタイルを変えるオフィス環境

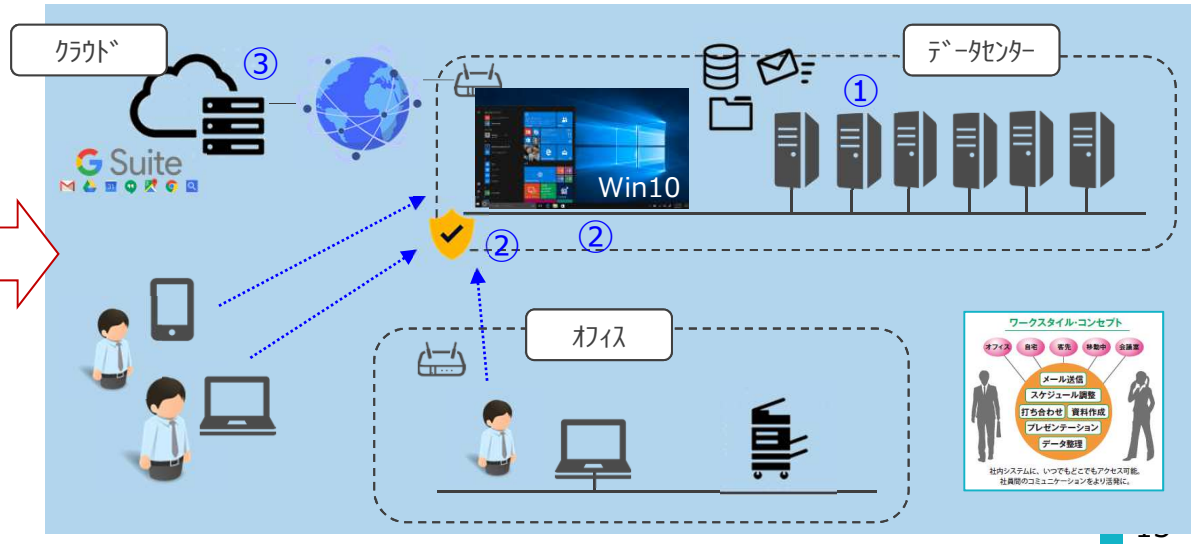
オフィスのITリソースがマヒ

- パソコン業務はオフィス自席で
- メールや文書もオフィスのサーバへ
- 唯一の連絡手段が不通



BCP、ワークスタイル変革

- 全てのシステムをデータセンターへ移行
- 全社員のWin10をデータセンターへ集約(VDI)
- 外出先業務で役立つツール活用



活用効果

自宅で仕事ができる

台風で出社困難な場合でも
自宅の端末で仕事 (BCP)

外出先から社内会議に参加

次の訪問があるため、外出先
からタブレットで会議に参加

迅速な承認処理

外出先でタブレットを使用して
社内メール確認、承認実施

コスト最適化

30%以上減
印刷用紙

14%減
端末台数

70%減
コピー機台数

2名減

フリーアドレス自由に着席

今日はお客様とシステム設計

セキュリティリスク対策

パソコンや記憶装置にデータ保管
する必要なし、万が一紛失事故や
情報漏洩時のリスク対策

第３章　多様化する働き方に向けたテレワーク環境

第１章．**在宅勤務**へのスムーズな移行

第２章．メールも繋がらない。10年前の**苦い経験**

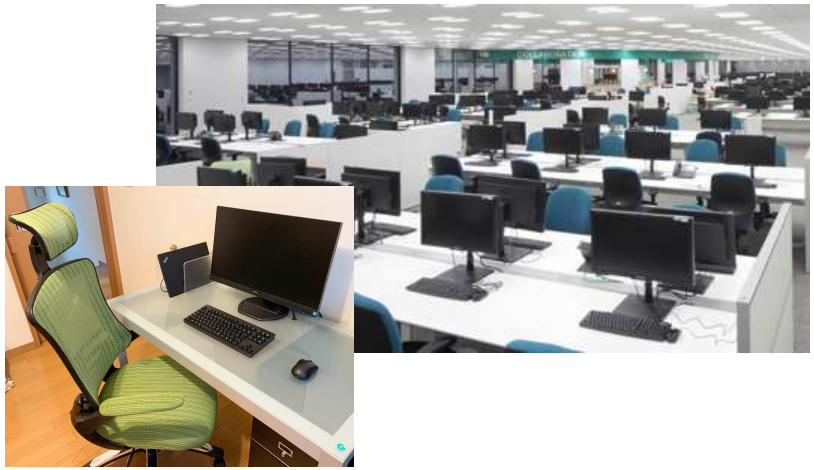
第３章．**多様化する働き方**に向けたテレワーク環境

© 2021 QUALICA Inc.

１年で大きく変化した「働く場所」の捉え方

『ニューノーマルな働き方環境』
柔軟な働き方を許容する労働環境、場所に依存せずストレスなく使えるIT

これまでの流れ
　本社へ機能集約、三密が知恵を生む

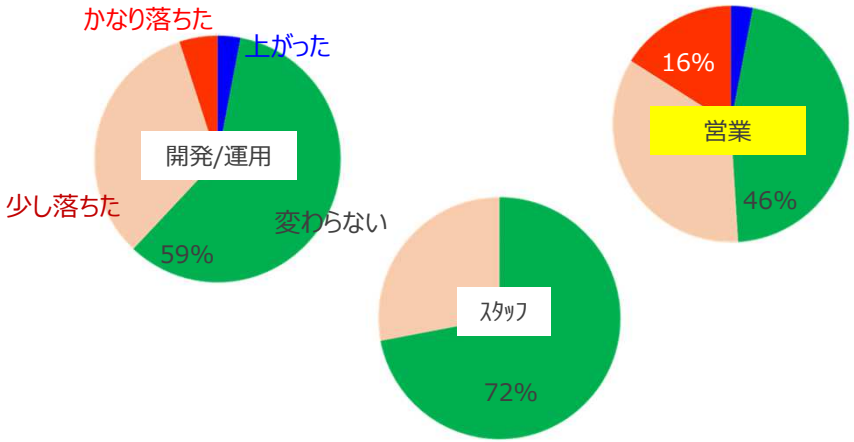


© 2021 QUALICA Inc.

社員アンケート実施でみえた課題

社員アンケート実施

(職種別) 生産性/効率の変化



テレワーク環境の改善点

＜ハード面＞ ・インフラ、通信環境の改善
・利用デバイスの追加調達

＜ソフト面＞ ・コミュニケーションツールの改善

＜業務面＞ ・捺印低減, 紙手続き見直し

コミュニケーションがしずらい　顔が見えない会議

指示だし/指示受け、作業の進捗管理の難しさ　On-offの切替が難しい

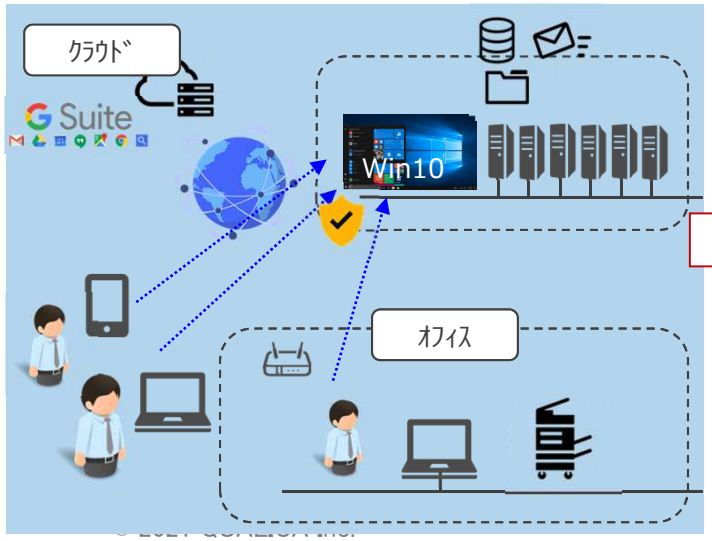
© 2021 QUALICA Inc.

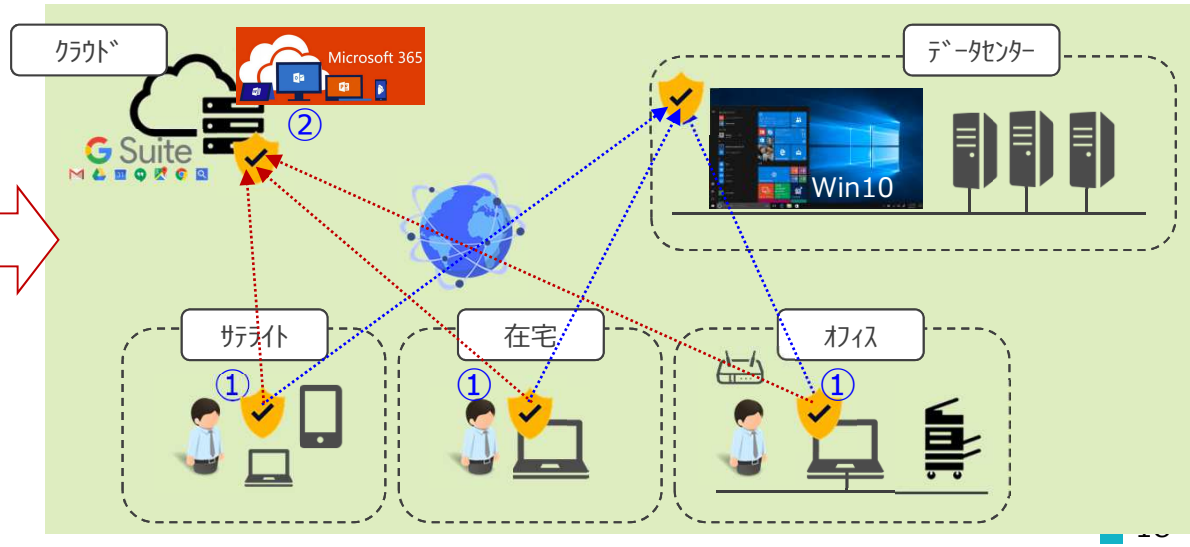
ニューノーマルに向けて

BCP,ワークスタイル変革 ⇒ 「働く場所」を問わない環境

- 全てのシステムをデータセンターへ移行
- 全社員のWin10をデータセンターへ集約(VDI)
- 外出先業務で役立つツール活用

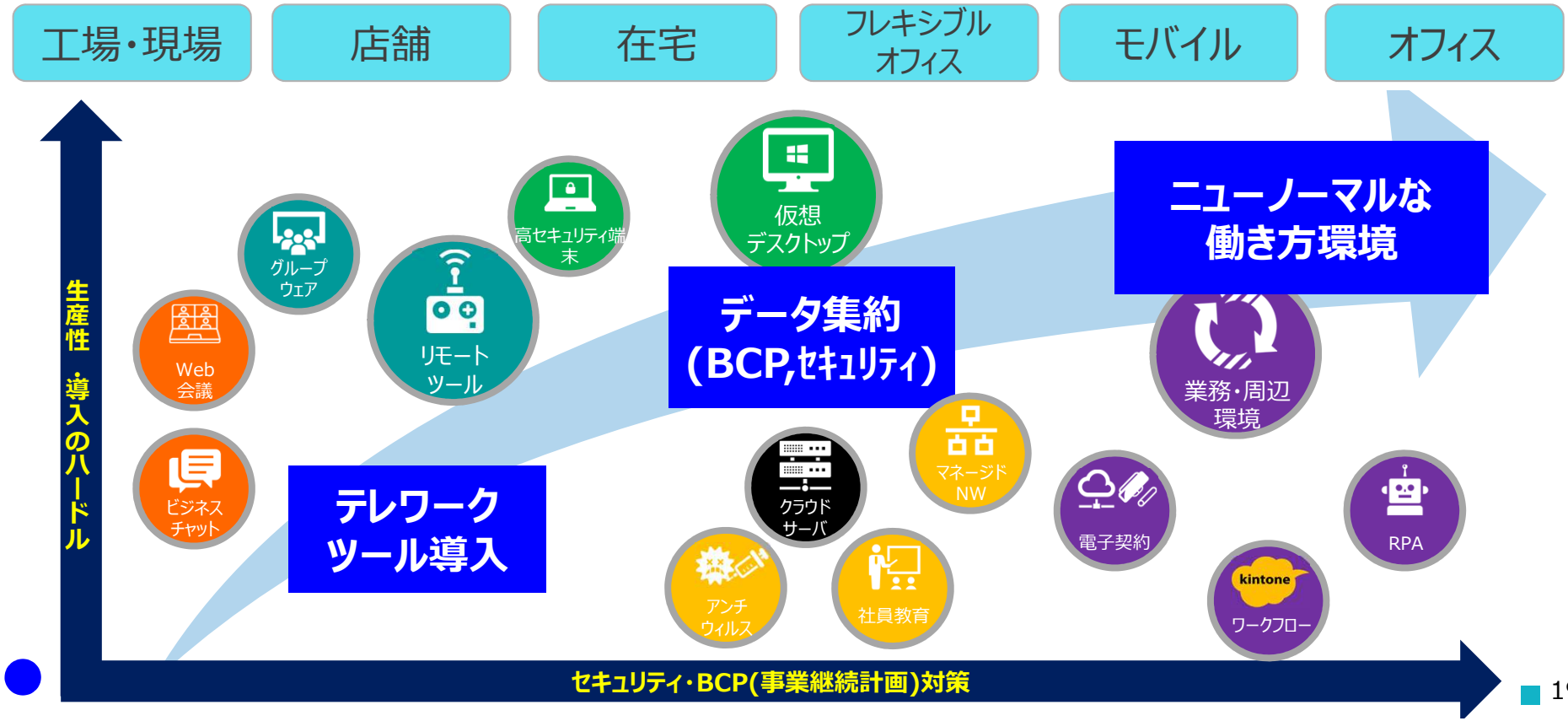
- 端末のゼロトラストセキュリティ強化
- ハイブリッド会議(会議のDX化)
- ホテリングオフィス



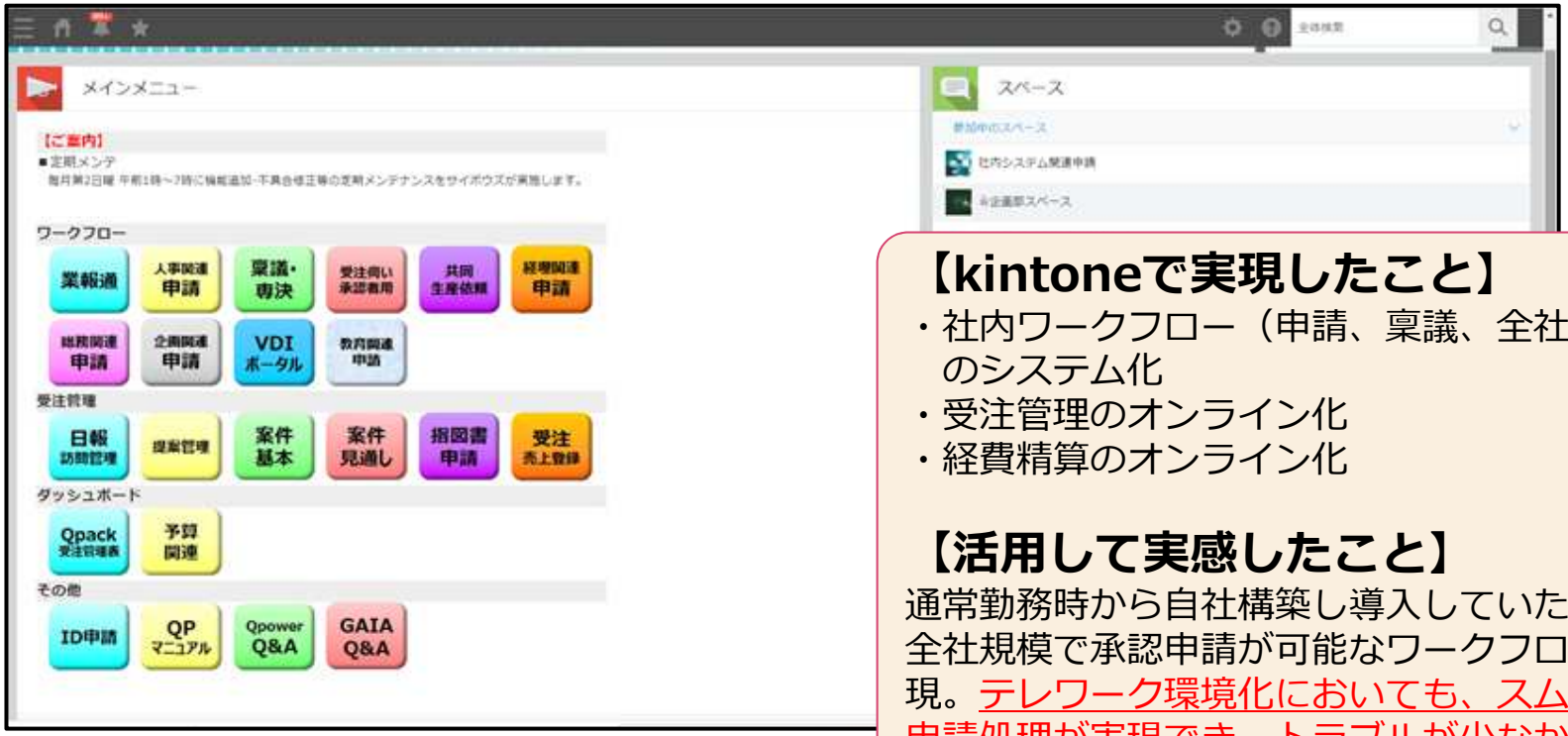


ニューノーマルに向けたモデルケース

製造業、流通業に特化した「次世代ThinOfficeソリューション」



kintoneの社内活用



【kintoneで実現したこと】

・社内ワークフロー（申請、稟議、全社業連）のシステム化
・受注管理のオンライン化
・経費精算のオンライン化

【活用して実感したこと】

通常勤務時から自社構築し導入していた。
全社規模で承認申請が可能なワークフローを実現。テレワーク環境化においても、スムーズな申請処理が実現でき、トラブルが少なかった。
押印による出社も少なく済んだ。

© 2021 QUALICA Inc.

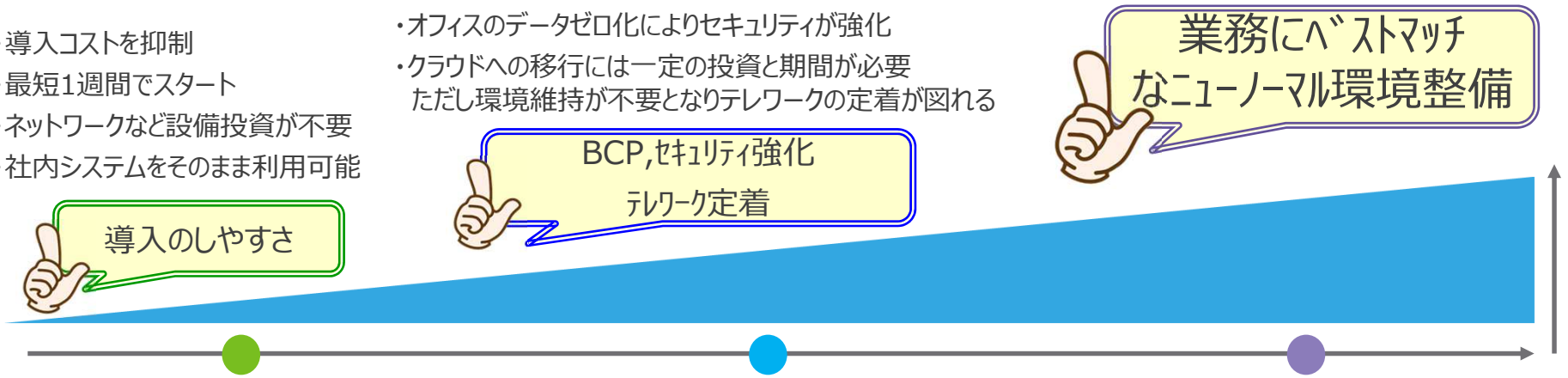
導入効果 （段階1） ⇒ (段階2) ⇒ (段階3)

段階1	段階2	段階3
エンドデバイス、モバイル 最小コスト/期間でスタートさせるテレワーク業務	BCP対策やセキュリティ強化で テレワークの定着	働く場所に合わせた業務システム の見直し

・導入コストを抑制
・最短1週間でスタート
・ネットワークなど設備投資が不要
・社内システムをそのまま利用可能

・業務データ含むITリソースをクラウドへ
⇒ 在宅からすべてのシステムを利用可能
・オフィスのデータゼロ化によりセキュリティが強化
・クラウドへの移行には一定の投資と期間が必要
ただし環境維持が不要となりテレワークの定着が図れる

・製造業、流通業に特化し、お客様の
企業活動や業務に合わせた
ニューノーマル/DXをコーディネート

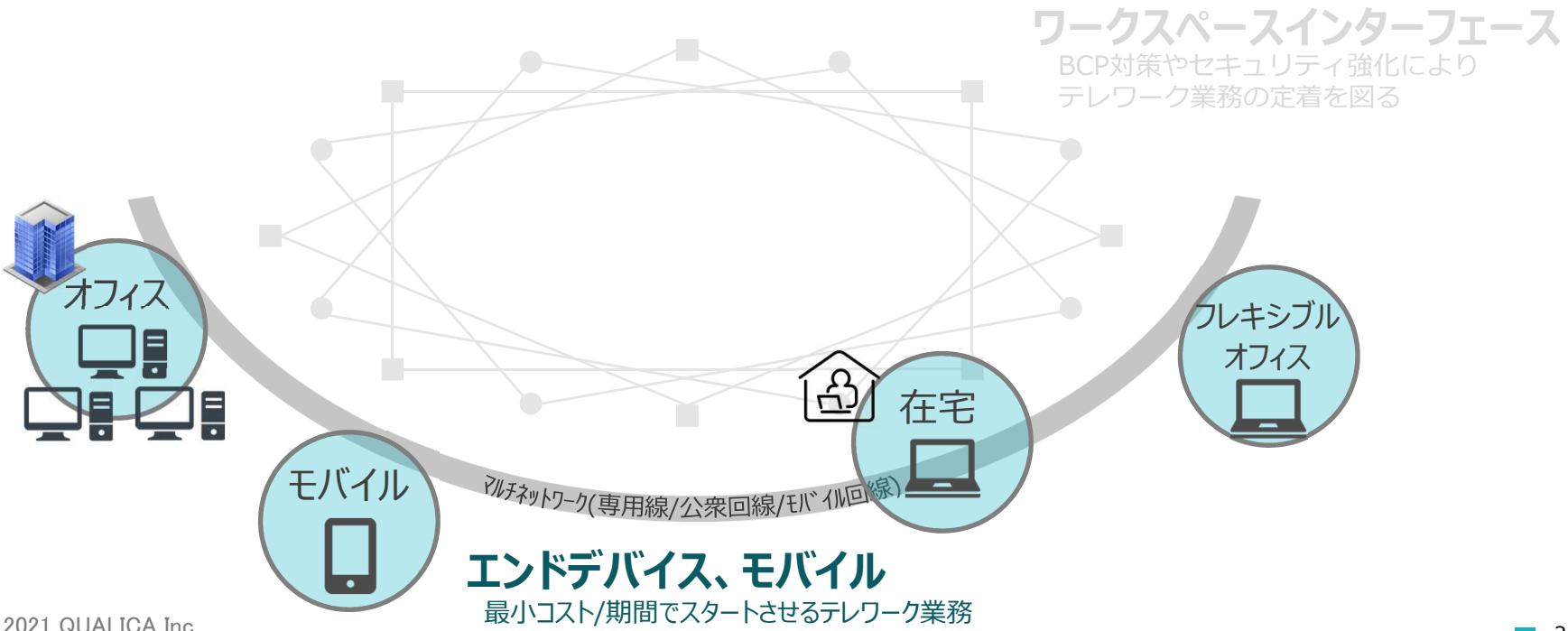


© 2021 QUALICA Inc.

まとめ）　段階１

導入のしやすさ

エンドデバイス(パソコンやタブレット)とツールを組合せ活用することで
すぐにテレワークをスタートさせるモデル

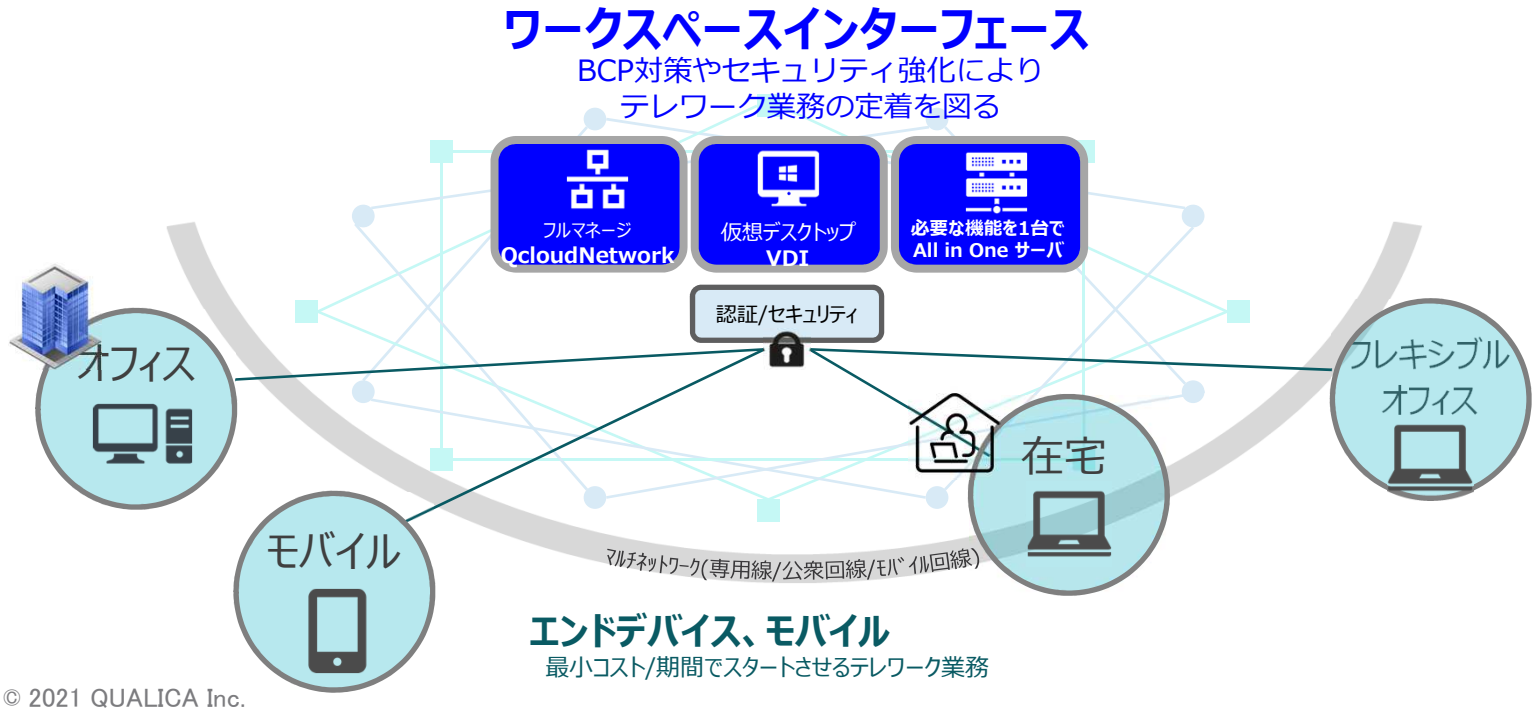


© 2021 QUALICA Inc.

まとめ）　段階２

BCP,ｾｷｭﾘﾃｨ強化
ﾃﾚﾜｰｸ定着

仮想デスクトップを導入し
パンデミック/災害対策、データ保全/漏洩などBCPとセキュリティを強化したモデル

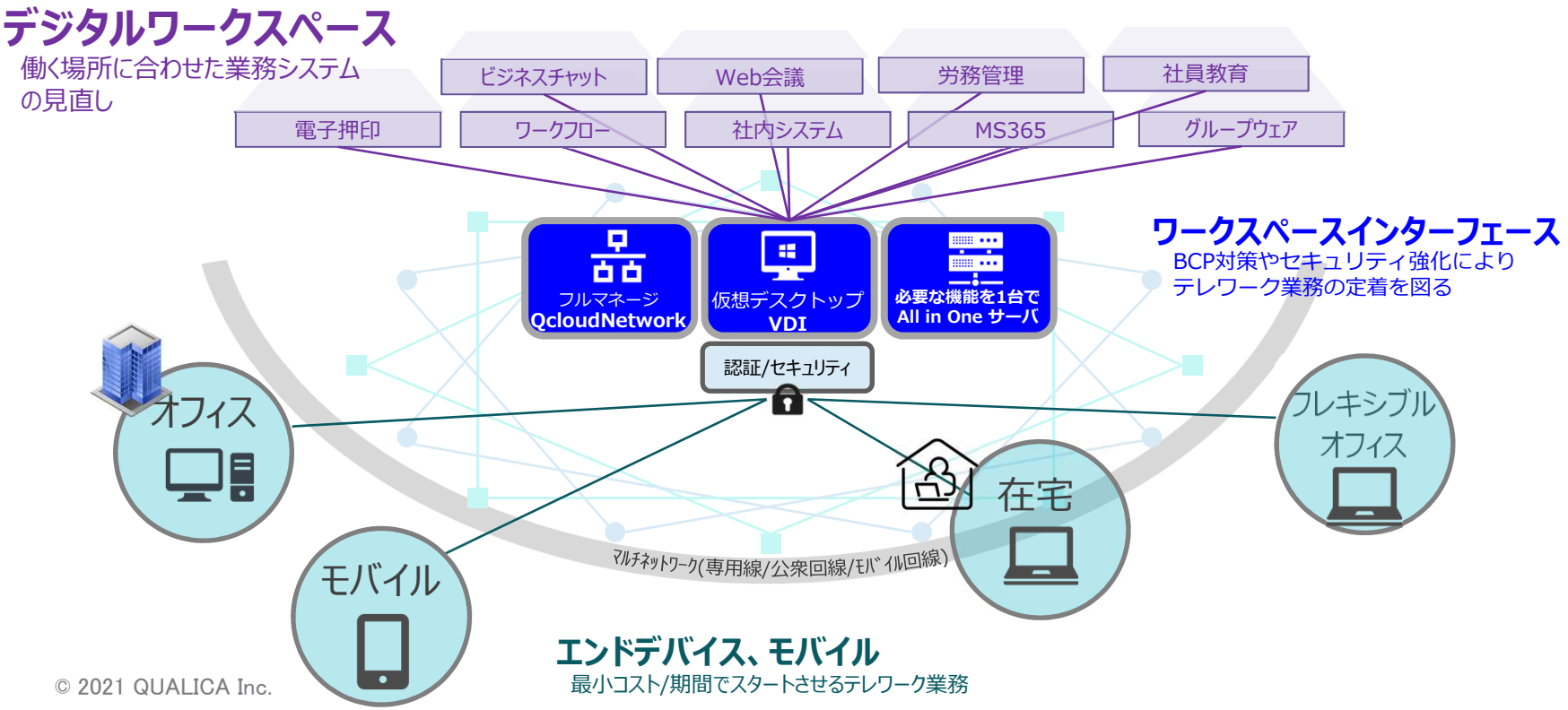


© 2021 QUALICA Inc.

まとめ）　段階３

業務にﾍﾞｽﾄﾏｯﾁな
ﾆｭｰﾉｰﾏﾙ環境整備

お客様のニューノーマル、DX化にベストマッチな組み合わせをコーディネートしたモデル



© 2021 QUALICA Inc.

まとめ）

１年で大きく変化した「働く場所」の捉え方、DXの再認識

・場所に依存せずストレスなく使えるITの必要性
・なかなか進まなかったDXが一気に進展

『テレワークの段階的導入』を実現するクオリカのThinOfficeモデル

トータルソリューションの中からお客様にあった選択や組み合わせ
・エンドデバイス、モバイル
・ワークスペースインターフェース
・デジタルワークスペース

© 2021 QUALICA Inc.

ご清聴ありがとうございました

ITで、社会の願い叶えよう。

TIS INTEC Group

本資料に関するお問い合わせ

クオリカ株式会社

プラットフォームサービス事業部
プラットフォームサービス2部

TEL：03-5937-0772　FAX：03-5937-0803
E-Mail：sales_qcloud@qualica.co.jp

＜本資料の取り扱いに関して＞
本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、クオリカ株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。
本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。